

令和7年2月定例月議会

2月補正予算参考資料
(第9号)

目 次

1. 一般会計

【総務費】

- ・企業版ふるさと納税基金積立金 5
- ・【国1次補正】防災倉庫整備事業費 6

【民生費】

- ・【国1次補正】防災補強等改修支援事業費補助金 7
- ・介護給付費・訓練等給付費（扶助費） 8
- ・一般経費（システム運営経費） 10
- ・幼稚園事務費事業費（児童一般分） 11
- ・こどもまんなか基金積立金 12
- ・保育所事務費事業費（児童一般分） 13
- ・地域型保育事業費 14

【衛生費】

- ・養育医療給付事業費 15
- ・乳幼児等予防接種事業費 16
- ・【国1次補正】し尿収集運搬事業費（トイレトラック導入） 17

【農林水産業費】

- ・森林環境基金積立金 19

【商工費】

- ・中小企業関係資金保証料補給金（中小企業振興資金、独立開業資金） 20

【土木費】

- ・【国1次補正】ため池災害対策事業費 21
- ・四日市港管理組合負担金 22
- ・【国1次補正】四日市あすなろう鉄道運行事業費 23
- ・内部・八王子線基金積立金 24
- ・【国1次補正】中央通り再編事業 25
- ・【国1次補正】スマートシティ実装化事業 27
- ・【国1次補正等】都市公園整備事業費 29

【消防費】

- ・退職手当（消防）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 0

【教育費】

- ・【国 1 次補正】大規模改修事業費（小中学校）・・・・・・・・・・ 3 1
- ・施設管理運営費（少年自然の家指定管理料・光熱費高騰分）・・・・ 3 2

2. 特別会計

競輪事業特別会計

- ・競輪事業特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 3

介護保険特別会計

- ・保険給付費（居宅介護サービス給付費）・・・・・・・・・・・・ 3 4
- ・地域支援事業費（介護予防・日常生活支援総合事業費審査支払手数料）・・・・ 3 5

3. 企業会計

水道事業会計

- ・【国 1 次補正】基幹施設耐震化事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 6

市立四日市病院事業会計

- ・市立四日市病院事業会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 7

下水道事業会計

- ・【国 1 次補正】管渠布設費、ポンプ場築造費、処理場築造費・・・・ 3 8

企業版ふるさと納税基金積立金

1. 目的

企業からの寄附金を活用して、地域再生法に基づき、内閣総理大臣の認定を受けた「四日市市まち・ひと・しごと創生推進計画」に位置づけた事業の推進を図る。

2. 内容

企業版ふるさと納税制度を活用した企業からの寄附金については、原則寄附を受け付けた当該年度の事業に充てることとなっているが、基金への積立を行うことで翌年度以降の事業にも寄附金を充てることが可能となる。

柔軟な制度運営を図るため、企業版ふるさと納税基金への積立を行う。

3. 補正予算額

10,077千円 (財源内訳) その他特財 10,077千円

〔企業版ふるさと納税寄附金
企業版ふるさと納税基金運用益〕

【歳入補正予算額】

企業版ふるさと納税寄附金 26,800千円

企業版ふるさと納税基金運用益 77千円

※参考：令和6年度末残高見込み 125,608千円

〔企業版ふるさと納税制度の概要〕

国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と法人関係税から税額控除（寄附額の最大6割）される仕組み。最大で寄附額の9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮される。

【国1次補正】防災倉庫整備事業費

1. 目的

令和6年能登半島地震においても、長期にわたる避難所生活により、被災者に心身の機能の低下や様々な疾患の発生、悪化が見られたことから、密閉式簡易トイレを配備することで避難所生活のストレスを軽減し、避難所での衛生環境の改善を図る。

2. 内容

国の第1次補正予算に伴い、令和7年度に実施する事業について令和6年度に前倒して予算計上するとともに、年度内の事業完了が見込めないため、併せて繰越明許費を計上する。

○備品購入費

衛生環境の改善を図るため、避難所に要配慮者が利用しやすい密閉式簡易トイレセットの追加配備を行う。

- ・密閉式簡易トイレセット（トイレ TENT 含む） 70セット



3. 補正予算額

29,911千円	(財源内訳) 国庫支出金(1/2)	14,955千円
	一般財源	14,956千円

4. 繰越明許費（追加）

29,911千円	(財源内訳) 国庫支出金(1/2)	14,955千円
	一般財源	14,956千円

【国1次補正】防災補強等改修支援事業費補助金

1. 目的

宿泊を伴う介護事業所において、耐震や建物の老朽化に伴う施設の防災改修等に対する工事費の一部を助成することにより、利用者の安全確保を図る。

2. 内容

国の第1次補正予算に伴い、認知症高齢者グループホーム等に対する防災改修等支援事業の二次協議の募集があり、市内事業所の意向確認を行ったところ、下記対象事業所から改修工事実施の意向があったため、増額補正を行う。

また、年度内の事業完了が見込めないため、併せて繰越明許費を計上する。

○事業概要：一定額以上（80万円超）の耐震改修や老朽化対策工事等を行う事業所に対し補助金を助成

○対象工事：耐震改修、老朽化に伴う施設の改修、災害対策のための改修等

○対象事業所

対象法人	対象事業所	事業内容	補助額
有限会社 コーブンシャ	グループホーム ほのぼの平尾の家	浴室、トイレ等の 大規模修繕	7,730千円
株式会社 ビジュアルビジョン	ケアビジョンホーム 四日市	災害時用の自家 発電設備の整備	7,700千円

○国庫補助額：認知症高齢者グループホーム等 …… 7,730千円／1施設
(上限額)

<スケジュール(予定)>

令和7年3月下旬	交付決定
令和7年4月中旬～下旬	業者決定、工事発注
令和7年6月上旬以降	工事開始
令和7年8月	工事完了

3. 補正予算額

15,430千円 (財源内訳) 国庫支出金(10/10) 15,430千円

4. 繰越明許費(追加)

15,430千円 (財源内訳) 国庫支出金(10/10) 15,430千円

介護給付費・訓練等給付費（扶助費）

1. 目的

障害のある人がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスの給付を行う。

2. 内容

介護給付費及び訓練等給付費のうち下記の事業において、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定に伴う単価の増加及び利用件数の増加により、扶助費が当初の見込みを上回ったため、増額補正を行う。

令和6年度所要額見込

(単位：千円)

事業内容	当初予算額	補正予算額	補正後予算額
居宅介護	843,000	85,000	928,000
生活介護	2,347,000	85,000	2,432,000
施設入所支援	478,000	70,000	548,000
就労移行支援	182,000	21,000	203,000
就労継続支援	1,480,000	45,000	1,525,000
計	5,330,000	306,000	5,636,000

3. 補正予算額

306,000千円

内、居宅介護等事業費

85,000千円

(財源内訳) 国庫支出金 (1/2) 42,500千円
 県支出金 (1/4) 21,250千円
 一般財源 21,250千円

内、生活介護事業費

85,000千円

(財源内訳) 国庫支出金 (1/2) 42,500千円
 県支出金 (1/4) 21,250千円
 一般財源 21,250千円

内、施設入所支援事業費

70,000千円

(財源内訳) 国庫支出金 (1/2) 35,000千円
 県支出金 (1/4) 17,500千円
 一般財源 17,500千円

内、就労移行支援事業費

21,000千円

(財源内訳) 国庫支出金 (1/2) 10,500千円
 県支出金 (1/4) 5,250千円
 一般財源 5,250千円

[内、就労継続支援事業費	45,000千円		
		(財源内訳) 国庫支出金 (1/2)	22,500千円	
		県支出金 (1/4)	11,250千円	
		一般財源	11,250千円	
]				

一般経費（システム運営経費）

1. 目的

障害者総合支援法に基づく障害者自立支援給付の管理を行うために導入している自立支援システムについて、国のサービスコード修正に伴う改修を行うことにより、業務の効率化を図る。

2. 内容

令和6年11月の国からの事務連絡により、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定において、事業所が報酬請求に使用するシステムのサービスコードが報酬告示の単位数とは異なる設定となっており、請求・支払額に過不足が生じていることが判明した。このため、新サービスコードの登録及び過去分の支払額の調整を行う必要性が生じたことから、国の補助を受け市の自立支援システムの改修を行う。

また、仕様確定の遅れから年度内の事業の完了が見込めないため、併せて繰越明許費を計上する。

<スケジュール>

令和7年 ～5月：市の自立支援システムを改修
6月～ ：新サービスコードでの報酬請求開始
7～8月：事業所への報酬の過去分調整額支払い

3. 補正予算額	748千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/2)	374千円
			一般財源	374千円
4. 繰越明許費(追加)	748千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/2)	374千円
			一般財源	374千円

幼稚園事務費事業費（児童一般分）

1. 目的

私立幼稚園及び認定こども園に対して、国が定める基準（公定価格）に基づいた児童の保育に要する費用を支給する。

2. 内容

人事院勧告に伴う国家公務員給与改定を踏まえた公定価格単価の増額改定により、年間所要見込額が当初の見込みを上回るため、増額補正を行う。

当初予算額	補正予算額	補正後予算額
1,011,327 千円	44,704 千円	1,056,031 千円

3. 補正予算額

44,704 千円	(財源内訳)	国庫支出金 (1/2)	19,270 千円
		県支出金 (1/2・1/4)	12,717 千円
		一般財源	12,717 千円

こどもまんなか基金積立金

1. 目的

企業等からの寄附金を活用して、こども、若者及び子育て当事者が身体的、精神的及び社会的に将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる「こどもまんなか社会」を実現するため、地方自治法に基づき設置する基金への積立を行う。

2. 内容

寄附金については、寄附者の意向を踏まえ、事業に充てることとしており、基金への積立を行うことで翌年度以降の事業にも継続的に寄附金を充てることが可能となる。

寄附金の有効活用を図るため、「四日市市こどもまんなか基金条例」を定め、同基金への積立を行う。

3. 補正予算額

10,000千円

(財源内訳) その他特財 10,000千円
(児童福祉費寄附金)

保育所事務費事業費（児童一般分）

1. 目的

私立保育園及び認定こども園に対して、国が定める基準（公定価格）に基づいた児童の保育に要する費用を支給する。

2. 内容

人事院勧告に伴う国家公務員給与改定を踏まえた公定価格単価の増額改定により、年間所要見込額が当初の見込みを上回るため、増額補正を行う。

当初予算額	補正予算額	補正後予算額
3,759,594 千円	188,449 千円	3,948,043 千円

3. 補正予算額

188,449 千円	（財源内訳）	国庫支出金（1/2）	120,078 千円
		県支出金（1/4）	34,185 千円
		一般財源	34,186 千円

地域型保育事業費

1. 目的

地域型保育事業所に対して、国が定める基準（公定価格）に基づいた児童の保育に要する費用を支給する。

2. 内容

人事院勧告に伴う国家公務員給与改定を踏まえた公定価格単価の増額改定により、年間所要見込額が当初の見込みを上回るため、増額補正を行う。

当初予算額	補正予算額	補正後予算額
943,315 千円	46,216 千円	989,531 千円

3. 補正予算額

46,216 千円	(財源内訳)	国庫支出金 (1/2)	43,632 千円
		県支出金 (1/4)	1,291 千円
		一般財源	1,293 千円

養育医療給付事業費

1. 目的

入院を必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療の給付を行うことにより乳児の健康の保持増進を図る。

2. 内容

養育医療の支給額が当初の見込みを上回るため、増額補正を行う。

区分	当初予算額	補正予算額	補正後予算額
養育医療給付費	26,690 千円	6,429 千円	33,119 千円

3. 補正予算額

6,429 千円	(財源内訳)	国庫支出金 (1/2)	3,214 千円
		県支出金 (1/4)	1,607 千円
		一般財源	1,608 千円

乳幼児等予防接種事業費

1. 目的

乳幼児等に対して、予防接種法に定められた予防接種を実施することにより、感染症の流行を防ぐとともに、個人の病気の予防または重症化を防止する。

2. 内容

HPVワクチンの接種者数が、当初の見込みを上回るため、増額補正を行う。

		接種件数 (件)		(B) - (A)
		当初見込 (A)	実績見込 (B)	
HPVワクチン接種		3,600	9,480	5,880
内 訳	うち定期接種 (対象者:小学6年生～高校1年生 相当年齢の女子)	1,368	2,161	793
	うちキャッチアップ接種 (対象者:H9.4.2～H20.4.1 生まれの女子)	2,232	7,319	5,087

	当初予算額	補正予算額	補正後予算額
定期予防接種委託料	803,714千円	75,000千円	878,714千円

3. 補正予算額

75,000千円 (財源内訳) 一般財源 75,000千円

【国1次補正】し尿収集運搬事業費 (トイレトラック導入)

1. 目的

地震や台風などの自然災害が頻発するなか、災害時におけるトイレの確保は、災害関連死を防ぐ意味でも大きな課題となっていることから、トイレトラックの導入により、災害時における深刻なトイレ問題の解消を図る。

2. 内容

国の第1次補正予算に伴い、令和7年度に実施する事業について令和6年度に前倒して予算計上するとともに、年度内の事業完了が見込めないため、併せて繰越明許費を計上する。

【参考】主要な装備について

- ・トイレ室 5室（普通トイレ4室及び多機能トイレ1室）
- ・タンク容量 清水タンク 約700L
 汚物タンク 約1,060L（くみ取りなしで約1,000回使用可能）
- ・電力 ソーラー発電（充電）システム



(提供：一般社団法人助けあいジャパン)

3. 補正予算額

26,799千円

(財源内訳) 国庫支出金 (1/2) 13,248千円
市債 3,100千円
その他特財 10,000千円
(企業版ふるさと納税寄附金)
一般財源 451千円

4. 繰越明許費(追加)

26,799千円

(財源内訳) 国庫支出金 (1/2) 13,248千円
市債 3,100千円
その他特財 10,000千円
(企業版ふるさと納税寄附金)
一般財源 451千円

森林環境基金積立金

1. 目的

国から譲与される「森林環境譲与税」を活用して、公共施設への木製備品の導入や木質化のほか、森林経営管理制度に基づき、適切な管理が行われていない私有林への公的管理に対して活用を図る。

2. 内容

公共施設への三重県産材を用いた木製備品の導入や、森林経営管理法に基づき日常管理が行われていない私有林の持続的な管理に資する取り組みに活用するため、森林環境基金への積立を行う。

当初予算額 (A)	補正予算額 (B)	積立額 (A+B)
38,184千円	3,050千円	41,234千円

3. 補正予算額

3,050千円 (財源内訳) 一般財源 3,050千円

※参考：令和6年度末残高見込み 126,465千円

**中小企業関係資金保証料補給金
 (中小企業振興資金、独立開業資金)**

1. 目的

市内の中小企業者等が四日市市の制度融資を利用する場合に、保証料の一部を市が三重県信用保証協会に補給し、中小企業者の保証料を低減することにより、金融の円滑化を図り、もって中小企業の経営安定に寄与することを目的とする。

2. 内容

当該制度融資の利用が増加していることに伴い、本市から三重県信用保証協会に保証料の一部を補給する「保証料補給金」が不足するため、増額補正を行う。

(単位：千円)

	当初予算額	所要見込額	補正予算額
中小企業振興資金	14,200	65,100	50,900
独立開業資金	1,080	1,560	480

(1) 中小企業振興資金

○令和6年度 保証料補給金見込額 65,100千円

内訳	保証金額 (千円)	保証料補給金 (千円)
4～12月 (実績額)	1,223,900	29,141
1～3月 (見込額)	817,250	35,959
合計	2,041,150	65,100

※1～3月の見込額は、三重県信用保証協会による令和6年度保証承諾額の計画値から算出

★急増の要因

国や県における新型コロナウイルス感染症に関連する融資制度が終了（令和6年度6月末）したことで、代わりとなる調達コスト（保証料など）が低い融資の需要が高まっているため。

(2) 独立開業資金

○令和6年度 保証料補給金見込額 1,560千円

内訳	保証金額 (千円)	保証料補給金 (千円)
4～12月 (実績額)	66,580	1,092
1～3月 (見込額)	28,535	468
合計	95,115	1,560

※1～3月の見込額は、4～12月の実績額における平均額から算出

3. 補正予算額

51,380千円 (財源内訳) 一般財源 51,380千円

【国1次補正】ため池災害対策事業費

1. 目的

自然災害による被災を未然に防止するため、工事实施に向けた調査・設計を行い、市民の生命及び財産を守る。

2. 内容

国の第1次補正予算に伴う追加の交付内示額に合わせて、増額補正を行う。
また、年度内の事業完了が見込めないため、併せて繰越明許費を計上する。

調査・設計業務 北地神池、南地神池

3. 補正予算額

23,000千円 (財源内訳) 国庫支出金 (10/10) 23,000千円

4. 繰越明許費 (追加)

23,000千円 (財源内訳) 国庫支出金 (10/10) 23,000千円



北地神池(水沢町地内)



南地神池(水沢町地内)

四日市港管理組合負担金

1. 目的

三重県及び四日市市で組織する四日市港管理組合の一般会計の経費を負担する。

2. 内容

四日市港管理組合一般会計において、国の第1次補正予算に合わせた事業費の補正を行うほか、執行見込に合わせて補正を行う。

なお、主な要因である港湾建設費の増額は霞ヶ浦地区北ふ頭整備事業の国直轄事業負担金であり、財源は全額組合債となっている。

本市負担金については、三重県人事委員会勧告の反映や、退職手当の支給に伴う人件費の歳出増額により、増額補正となる。

〔四日市港管理組合 一般会計 歳入補正額 1,692,378千円の内訳〕

	補正前	補正額	補正後
○国庫支出金	270,000千円	40,000千円	310,000千円
・国補港湾改修費補助金	100,000千円	40,000千円	140,000千円
○組合債	1,909,300千円	1,616,900千円	3,526,200千円
・直轄事業債	734,800千円	1,540,000千円	2,274,800千円

〔四日市港管理組合 一般会計 歳出補正額 1,692,378千円の内訳〕

	補正前	補正額	補正後
○総務費	1,046,894千円	41,336千円	1,088,230千円
・給与費	530,355千円	18,548千円	548,903千円
・職員退職手当 (0人→1人)	0千円	22,219千円	22,219千円
○港湾建設費	1,549,380千円	1,660,000千円	3,209,380千円
・国補港湾改修事業費 (港湾メンテナンス)	200,000千円	120,000千円	320,000千円
・国直轄事業 (81号岸壁+直轄海岸)	704,000千円	1,540,000千円	2,244,000千円

3. 補正予算額

17,478千円 (財源内訳) 一般財源 17,478千円

(一般会計)

(単位：千円)

歳 入				歳 出			
科 目	既 決 予 算	補 正 額	計	科 目	既 決 予 算	補 正 額	計
分担金・負担金	2,943,908	39,364	2,983,272	議 会 費	20,358	449	20,807
県 負 担 金	1,636,813	21,886	1,658,699	総 務 費	1,046,894	41,336	1,088,230
市 負 担 金	1,307,095	17,478	1,324,573	港 湾 管 理 費	1,219,094	△ 9,736	1,209,358
使用料・手数料	717,392	△ 4,920	712,472	港 湾 建 設 費	1,549,380	1,660,000	3,209,380
国庫支出金	270,000	40,000	310,000	災 害 復 旧 費	100,000	0	100,000
県支出金	17,314	230	17,544	公 債 費	2,000,154	329	2,000,483
財産収入	10,881	28	10,909	予 備 費	1,000	0	1,000
繰入金	43,911	0	43,911				
諸収入	24,174	776	24,950				
組合債	1,909,300	1,616,900	3,526,200				
計	5,936,880	1,692,378	7,629,258	計	5,936,880	1,692,378	7,629,258

内部・八王子線基金積立金

1. 目的

内部・八王子線の存続を図ることを目的に設置した内部・八王子線基金に、四日市あすなろう鉄道(株)の利益相当額の積み立てを行う。

2. 内容

四日市あすなろう鉄道(株)の利益相当額は、同社が市へ寄附を行うこととなっている。

令和6年度の四日市あすなろう鉄道(株)の収支について、旅客運輸収入に関し、利益が見込まれることから、年間の利益相当額を寄附金として受け入れるとともに、同額を内部・八王子線基金に積み立てる。

補正前	補正額	補正後
629千円	51,000千円	51,629千円

3. 補正予算額

51,000千円	(財源内訳) その他特財	51,000千円 (内部・八王子線基金寄附金)
----------	--------------	----------------------------

※参考：令和6年度末残高見込み 368,135千円

【国1次補正】中央通り再編事業

1. 目的

近鉄四日市駅・JR四日市駅周辺において、駅前広場等も含めた中央通りの再編により、中心市街地の活性化や交通機能の向上を図る。

2. 内容

国の第1次補正予算に伴い、国道1号～JR四日市駅間の道路工事について追加の交付を得られたことから、補助事業費の増額補正を行う。

合わせて、国補助金の受け皿となる都市再生協議会への負担金について、必要な予算の増額補正を行う。

また、本補正分を含む国道1号～JR四日市駅間やECI事業区間の工事について、年度内の事業完了が見込めないため、併せて繰越明許費を計上する。

(単位：千円)

	補正前	補正額	補正後	補正内容
補助事業	1,708,393	99,000	1,807,393	道路工事(国道1号～JR四日市駅間)
単独事業	781,832		781,832	
都市再生協議会事業	422,597	49,500	472,097	追加交付に伴う負担金の増額

3. 補正予算額

148,500千円 (財源内訳) 市債 49,500千円
その他特財 99,000千円
(都市再生協議会受託費)

(内訳)

・中央通り再編事業費(補助事業費)

99,000千円 (財源内訳) その他特財 99,000千円
(都市再生協議会受託費)

・都市再生協議会負担金

49,500千円 (財源内訳) 市債 49,500千円

4. 繰越明許費（追加）

2,662,360千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/2)	410,133千円
		市債	747,500千円
		その他特財	1,504,727千円
		〔都市再生協議会受託費 都市基盤・公共施設等整備基金繰入金〕	

繰越明許費 内訳

ECI事業区間	1,328,858千円
国道1号～JR 四日市駅間（本補正分含む）	37,118千円
都市再生協議会負担金等	1,296,384千円

(内訳)

・中央通り再編事業費（補助事業費）

1,650,323千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/2)	410,133千円
		市債	369,100千円
		その他特財	871,090千円
		〔都市再生協議会受託費 都市基盤・公共施設等整備基金繰入金〕	

・街路単独事業費

597,008千円	(財源内訳)	その他特財	597,008千円
		(都市基盤・公共施設等整備基金繰入金)	

・都市再生協議会負担金

415,029千円	(財源内訳)	市債	378,400千円
		その他特財	36,629千円
		(都市基盤・公共施設等整備基金繰入金)	

【国1次補正】スマートシティ実装化事業

1. 目的

中央通り再編に合わせて、『四日市スマートリージョン・コア実行計画』に位置付けたスマートサービスの早期実装により、公共交通の利用促進や中心市街地の賑わい創出を図る。

2. 内容

国の第1次補正予算に伴い、スマートサービスの実装について追加の交付を得られたことから、補助事業費の増額補正を行う。

合わせて、国補助金の受け皿となる四日市スマートリージョン・コア推進協議会への負担金について、必要な予算の増額補正を行う。

また、年度内の事業完了が見込めないため、併せて繰越明許費を計上する。

(単位：千円)

	補正前	補正額	補正後	内容
補助事業	29,274	19,000	48,274	スマートサービスの実装
四日市スマートリージョン・コア推進協議会事業	6,274	9,000	15,274	追加交付に伴う負担金の増額

スマートシティ実装化支援事業における3カ年の取組

	R6年度		R7年度
	補正前	追加補正	
① 利活用空間活性化ツールの構築	・スマート・インフラの整備(デジタルサイネージ・コンテンツ)		・サービスの収益化に向けて検証したうえで実装
② 四日市版MaaS(Phase-1)の構築	・次世代モビリティ(自動運転、パーソナルモビリティ)予約システムのアップデート(駐車場の満空情報など) ・デジタルスタンプラリーの実施		・MaaS(Phase-1)の実装(飲食店等の地域民間サービスとの連携等)
③ バーチャル空間におけるコミュニケーション・ツールの構築	・沿道空間利用希望者と空間のマッチングを促進するための「沿道空間利用マネジメントシステム」の仕様検討等	「沿道空間利用マネジメントシステム」の構築、実装	※当補正により前倒し
④ 中央通りにおける3D都市モデルを活用したプランニング/マネジメント・ツールの構築	・先行街区内の一部範囲におけるデジタルインフラ台帳(地下埋設物の3D可視化)作成		・埋設物事業者等にとって利用しやすい運用体制・ルールの実証を行い、実装

3. 補正予算額

28,000千円

(財源内訳) その他特財 28,000千円

〔 四日市スマートリージョン・コア推進協議会受託費
都市基盤・公共施設等整備基金繰入金 〕

(内訳)

- ・スマートシティ実装化事業費

19,000千円

(財源内訳) その他特財 19,000千円

(四日市スマートリージョン・コア推進協議会受託費)

- ・四日市スマートリージョン・コア推進協議会負担金

9,000千円

(財源内訳) その他特財 9,000千円

(都市基盤・公共施設等整備基金繰入金)

4. 繰越明許費 (追加)

28,000千円

(財源内訳) その他特財 28,000千円

〔 四日市スマートリージョン・コア推進協議会受託費
都市基盤・公共施設等整備基金繰入金 〕

(内訳)

- ・スマートシティ実装化事業費

19,000千円

(財源内訳) その他特財 19,000千円

(四日市スマートリージョン・コア推進協議会受託費)

- ・四日市スマートリージョン・コア推進協議会負担金

9,000千円

(財源内訳) その他特財 9,000千円

(都市基盤・公共施設等整備基金繰入金)

【国1次補正等】都市公園整備事業費

1. 目的

中央通り再編事業と連携を図り、中心市街地の魅力及び回遊性を向上させるため、鶉の森公園及び諏訪公園の再整備を進める。

2. 内容

国の第1次補正予算等に伴い、鶉の森公園整備工事について追加の交付を得られたことから増額補正を行う。

また、年度内の事業完了が見込めないため、併せて繰越明許費を計上する。

	補正前	補正額	補正後
	242,800 千円	138,200 千円	381,000 千円
(内訳)			
【まちなかウォーカーブル推進事業】			
鶉の森公園 (工事、設計)	226,750 千円	138,200 千円	364,950 千円
諏訪公園 (設計)	16,050 千円	—	16,050 千円
計	242,800 千円	138,200 千円	381,000 千円

3. 補正予算額

138,200 千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/2)	69,100 千円
		市債	68,800 千円
		一般財源	300 千円

4. 繰越明許費 (追加)

138,200 千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/2)	69,100 千円
		市債	68,800 千円
		一般財源	300 千円



第1期 令和6年度から令和7年度

退職手当（消防）

1. 目的

消防職員の退職に際し、退職時の給料月額、勤続年数等に応じた退職手当を支給する。

2. 内容

退職予定者が当初の想定を上回ったため、不足分を増額補正する。

定年退職者数	4人
60歳に達した年度末退職者数	3人
普通退職者数	4人

所要見込額	187,925千円	
当初予算額	86,473千円	(当初見込 4人分)
補正額	101,452千円	

3. 補正予算額

101,452千円	(財源内訳)	その他特財	7,487千円
		(朝日、川越二町消防事務受託費)	
		一般財源	93,965千円

【国1次補正】大規模改修事業費（小中学校）

1. 目的

良好な学習環境の確保と施設の長寿命化を図るため、校舎及び屋内運動場の大規模改修、長寿命化改修または保全改修を行う。

2. 内容

国の第1次補正予算に伴い、令和7年度に実施する工事について令和6年度に前倒して予算計上するとともに、年度内の事業完了が見込めないため、併せて繰越明許費を計上する。また、令和6年度当初予算で計上した工事等について、入札差金等が生じたため減額補正を行う。

(1) 改修種別

- ア 大規模改修 : 防水改修、外壁改修、内部(床・壁・天井・教室間仕切り・廊下・階段)改修、校舎便所改修、設備機器更新を行う。
- イ 長寿命化改修 : 大規模改修工事の内容に加え、建具改修及び設備配管の更新を行う。
- ウ 保全改修 : 防水改修、外壁改修、便所改修を行う。

(2) 対象校舎

三重北小学校	(イ)教室棟	鉄筋コンクリート造3階建	910 m ²	昭和53年建設
県小学校	(イ)管理・特別教室棟	鉄筋コンクリート造3階建	1,757 m ²	昭和53、63年建設
川島小学校	(イ)管理教室棟	鉄筋コンクリート造3階建	278 m ²	昭和63年建設
	(ア、イ)特別教室棟	鉄筋コンクリート造3階建一部4階建	1,943 m ²	昭和57、平成2年建設
羽津北小学校	(イ)管理教室棟	鉄筋コンクリート造3階建	1,050 m ²	昭和57年建設
楠中学校	(ア)管理棟、教室棟	鉄筋コンクリート造3階建	1,169 m ²	昭和47年建設
桜中学校	(イ)管理教室棟	鉄筋コンクリート造4階建	1,239 m ²	昭和57年建設
三重北小学校	(イ)屋内運動場	鉄筋コンクリート造平屋建	737 m ²	昭和54年建設
羽津北小学校	(イ)屋内運動場	鉄筋コンクリート造平屋建	737 m ²	昭和58年建設
桜中学校	(イ)屋内運動場	鉄筋コンクリート造平屋建	904 m ²	昭和58年建設
塩浜小学校	(ウ)管理・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	3,180 m ²	平成7年建設

3. 補正予算額 858,987千円 (財源内訳) 国庫支出金(1/3・2/7) 174,881千円

{	内訳 国の補正前倒し分	1,071,937千円	市債	35,400千円
	入札差金等精算分 △	212,950千円	一般財源	648,706千円

4. 繰越明許費（追加）

1,071,937千円	(財源内訳)	国庫支出金(1/3・2/7)	174,881千円
		市債	357,900千円
		一般財源	539,156千円

施設管理運営費
(少年自然の家指定管理料・光熱費高騰分)

1. 目的

豊かな自然の中での集団宿泊訓練、野外活動、自然探究等を通じて、心身ともに健全な青少年の育成を目的として設置された四日市市少年自然の家の管理を、指定管理者制度により、効率的な施設運営を行うとともに、魅力的なプログラムを利用者に提供する。

2. 内容

光熱費の高騰により、当初想定していた指定管理料を上回ることから、令和6年度指定管理料の増額補正を行う。

(1) 指定管理者 西武造園株式会社

(2) 光熱費の高騰による不足見込額

【ガス代】 (市積算額) (年間支出見込額) (不足見込額)
2,862千円 - 3,862千円 = △1,000千円

(3) 指定管理料

(予算現額) (補正額) (補正後額)
93,456千円 + 1,000千円 = 94,456千円

(参考)過去5年間の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込)
ガス代	1,630千円	2,141千円	2,786千円	3,055千円	3,862千円

3. 補正予算額

1,000千円 (財源内訳) 一般財源 1,000千円

4. 債務負担行為(追加)

限度額 280千円

期間 令和6年度から令和9年度まで

競輪事業特別会計

1. 目的

令和6年度車券売上金について、インターネット投票が増加したことにより、年間の売上額が当初予算額を上回る見込みであるため、車券売上金の歳入補正を行うとともに、それに伴う車券払戻金等の関係経費の歳出補正を行う。

なお、収益相当分については、競輪事業財政調整基金へ積立を行う。

2. 内容

(1) 歳入

・車券売上金（事業収入） 3,000,000千円

(2) 歳出

事業収入の増加に伴うもの

・車券払戻金 2,250,000千円
・臨時場外開設関係経費 373,992千円
・公益財団法人JKA交付金 68,149千円
・競輪実施事務委託(JKA) 27,256千円
・公課費(消費税分) 6,230千円
・全国競輪施行者協議会負担金 1,942千円

収益相当分

・競輪事業財政調整基金積立金 272,431千円

3. 補正予算額

3,000,000千円 (財源内訳) 事業収入 3,000,000千円

介護保険特別会計

保険給付費（居宅介護サービス給付費）

1. 目的

「住み慣れた場所で健康で自分らしく暮らせるまち」のもと、高齢者誰もが安心して、地域の中でいきいきと自分らしく暮らせるよう、必要な介護保険サービスの給付を行う。

2. 内容

保険給付費のうち、居宅介護サービス給付費において、サービス利用者数の増加により、負担金が当初の見込みを上回ったため、増額補正を行う。

(単位：千円)

当初予算額	補正予算額	補正後予算額
8,630,215	209,106	8,839,321

3. 補正予算額

209,106千円

(財源内訳) その他特財 209,106千円
(介護給付費準備基金繰入金)

介護保険特別会計

地域支援事業費
(介護予防・日常生活支援総合事業費審査支払手数料)

1. 目的

介護予防・日常生活支援総合事業における事業所からの請求に対する審査及び支払いについて三重県国民健康保険団体連合会に委託し、手数料を支払う。

2. 内容

介護予防・日常生活支援総合事業における訪問介護相当サービス、通所介護相当サービス及び介護予防ケアマネジメントについて、利用者数の増加により、必要となる手数料が当初の見込みを上回ったため、増額補正を行う。

(単位：千円)

当初予算額	補正予算額	補正後予算額
3,012	99	3,111

3. 補正予算額

99千円

(財源内訳) その他特財 99千円
(介護給付費準備基金繰入金)

水道事業会計

【国1次補正】基幹施設耐震化事業

1. 目的

配水管、水管橋の耐震化を図り、被災時における市民生活への影響を最低限に抑える。

2. 内容

【第3期水道施設整備費】

○国の第1次補正予算に合わせて事業費を増額

補正前の額 876,000千円

補正後の額 1,066,000千円

米洗川水管橋耐震化工事 補正額 190,000千円

概要

水管橋架設工	1橋 (L=15.5m)
パイプビーム形式 本管	φ400 SUS304
パイプビーム形式 外装管	φ500 SUS304

3. 補正予算額

資本的収入	企業債	70,500千円
	国庫補助金	33,333千円
		<u>103,833千円</u>

資本的支出	第3期水道施設整備費	190,000千円
		<u>190,000千円</u>



市立四日市病院事業会計

1. 目的

救急医療、高度医療などの急性期医療を担う北勢地域の中核病院として、地域の医療機関とも連携を図りつつ、質の高い医療を提供していく。

2. 内容

- (1) 入院収益及び外来収益の減額 △1,576,373千円
 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴って患者数の回復を見込んだものの、患者数が見込みを下回っていることなどから、入院収益及び外来収益をともに減額する。

(単位：千円)

区 分	当初予算	補正額	補正後	患者数	
				当初予算	補正後
入院収益	16,280,460	△954,293	15,326,167	413人/日	387人/日
外来収益	8,393,220	△622,080	7,771,140	1,570人/日	1,560人/日

- (2) 材料費等の減額 △658,721千円
 入院及び外来収益の減少に伴って薬品費及び診療材料費も減少すること、また、薬品費における院外処方への切り替えを進めていることによる減少分も踏まえ、薬品費及び診療材料費をともに減額する。

材料費 △607,000千円 (内訳)
・薬品費 △534,000千円
・診療材料費 △73,000千円

また、薬品費の減少に伴って控除対象外消費税も減少するため、医業外費用の雑損失も51,721千円減額する。

3. 補正予算額

収益的収入

医業収益	入院収益	△954,293千円
	外来収益	△622,080千円

収益的支出

医業費用	材料費	△607,000千円
医業外費用	雑損失	△51,721千円

下水道事業会計

【国1次補正】管渠布設費、ポンプ場築造費、処理場築造費

1. 目的

生活排水処理および雨水排水対策を計画的に推進し、生活環境の向上と公共用水域の水質保全および浸水被害の防止を図る。

2. 内容

【管渠布設費】

○国の第1次補正予算に合わせて事業費を増額

補正前の額	4,342,350千円		
補正後の額	4,438,750千円	補正額	<u>96,400千円</u>

【ポンプ場築造費】

○国の第1次補正予算に合わせて事業費を増額

補正前の額	1,244,400千円		
補正後の額	1,667,600千円	補正額	<u>423,200千円</u>

【処理場築造費】

○国の第1次補正予算に合わせて事業費を増額

補正前の額	1,387,000千円		
補正後の額	1,473,400千円	補正額	<u>86,400千円</u>

3. 補正予算額

資本的収入	企業債	266,500千円
	国庫補助金	<u>309,820千円</u>
		576,320千円
資本的支出	管渠布設費	96,400千円
	ポンプ場築造費	423,200千円
	処理場築造費	<u>86,400千円</u>
		606,000千円